

楽器 〈グイロ (ケチュア語)〉

A0216

クスコ／ペルー

アンデスの玉手箱ーペルー南高地の祭り和生活

参照資料

図録『ラテン・アメリカの音楽と楽器』
p.22、p.27、p.62、p.70、
p.100、p.101
「季刊民族学」ファイル
～アンデス楽器の旅

演奏方法：

利き手に棒を持ち、
反対の手で本体を支
えます。

取扱注意：

鳴らすための棒は、
袋のポケットに入っ
ています。
使ったあとは必ず、
もとのポケットに戻
してください。



GÜIRO

ひょうたん・竹・木・骨などに刻み目をいれ、棒でひっかいて鳴らす楽器。グイロまたはギローといえは御存じの方も多いかもしれない。おろし金や洗濯板から、ときには家のとびらまで使ってしまう。何でも楽器にしてしまうラテン・アメリカの人々の本領が発揮されている。

關先生からのひとこと

グイロは、もともとアフリカより移り住んだ人々が生みだしたりズム楽器です。貧しかった移民たちは、身近な生活用品などを楽器にしていました。